

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代文 B①	前期 2 単位	石川 武美	6	6	3

◇科目の目標

さまざまなジャンルの現代文を読むことを通して、思考力を伸ばし、問題意識をはぐくみ、豊かな感性を養う。

◇科目の概要

より高いレベルの文学作品を鑑賞し、また、評論文や小説、エッセイなどの正確な読み取りができるようにする。

◇学習の進め方

筆者・作者は何を言おうとしているのかを常に考えるようにして下さい。また、学習書や辞書も活用し、わからない語句は調べながら読解してください。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らないことがらや言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自発的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4 月 24・25 日	「情けは人の……」	p. 68～78
2	5 月 8・9 日	「永訣の朝」	p. 62～67
3	5 月 29・30 日	「僕らの時代のメディア・リテラシー」	p. 127～137
4	6 月 26 日・27 日	「鼻」	p. 138～151
5	7 月 10 日・11 日	「思い込みの危険性」	p. 234～241
6	7 月 17 日・18 日	「山月記」	p. 349～363

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

◇使用教科書・副教材 標準現代文 B (第一学習社) 学習書 新国語便覧 (第一学習社)

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代文B②	2	大沢 実	6	6	3

#### 【科目の目標】

国語総合・現代文B①の内容を発展させ、文章の読解力を養い、言葉への意識を高め、言語文化の教養と幅広い思考力を身につけ、社会生活を送るための一助とする。

#### 【科目の概要】

基本的な文章読解力を身につけ、それを高める。

#### 【履修にあたっての留意点・学習の進め方】

本文全体を何度もよく読む。重要事項等を教科書へ直接書き込むとよい。  
言葉の意味を押さえ、ゆっくりと丁寧に内容を考える。自分で考えることで読解力は高まる。  
レポートはゆっくり丁寧に取り組む。

#### 【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月16日 17日	10月26日	「私という自分」 「耳を澄ませば世界は広がる」	P8-P14 P15-P21
2	10月23日 24日	11月14日	「バグダッドの靴磨き」	P293-307
3	10月30日 31日	11月24日	「職と想像力」 「物語を発現する力」	P218-233 P242-P251
4	12月11日 12日	12月21日	「短歌と俳句」 「折々のうた」	P110-117 P308-315
5	12月25日 26日	1月17日	「こころ」	P152-179
6	1月 8日 9日	1月26日	「経験の教えについて」	P260-269

【テ ス ト 範 囲】 ◇ 中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇ 期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 現代文B』  
国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B①	2	大沢 実	6	6	3

#### 【科目の目標】

基礎的な古文の読解力を身につける。

また、さまざまな教材を通して伝統文化を学び、作品読解により、ものの見方や考え方を広げる。

#### 【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高める。

#### 【学習の進め方】

まず教材本文をきちんと読めるようにする。

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、現代語訳ができるように努める。

#### 【履修にあたっての留意点】

古文の読解には時間がかかります。同じことを繰り返し学習することが大切です。

また、細かいことまで学習しなければなりません。根気よく学習してください。

#### 【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月24日・25日	5月09日	古文読解の基礎（古典文法）	文法書 P7-P98
2	5月08日・09日	5月29日	説話：『十訓抄』『唐物語』 和歌：『万葉集』	P12-13 P96-97 P46-48
3	5月22日・23日	6月09日	物語：『竹取物語』『伊勢物語』 歴史物語：『大鏡』	P19-21 P26-27 P128-129
4	7月03日・04日	7月11日	漢文：漢文学習の基礎・故事 漢詩：『論語』	P167-168 P170 P184・186 P216
5	7月10日・11日	8月02日	随筆：『枕草子』・『方丈記』 『徒然草』	P58-59 P65 P39-40 P34
6	7月24日・25日	9月01日	日記：『更級日記』 物語：『源氏物語』	P70-71 P130-132

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』  
文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』  
国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B②	2	大沢 実	6	6	3

#### 【科目の目標】

基礎的な古文の読解力を身につける。

また、さまざまな教材を通して伝統文化を学び、作品読解により、ものの見方や考え方を広げる。

#### 【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高める。

#### 【学習の進め方】

まず教材本文をきちんと読めるようにする。

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、現代語訳ができるように努める。

#### 【履修にあたっての留意点】

古文の読解には時間がかかります。同じことを繰り返し学習することが大切です。

また、細かいことまで学習しなければなりません。根気よく学習してください。

#### 【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月09日・10日	10月26日	古文読解の基礎（古典文法）	文法書 P7-P98
2	10月23日・24日	11月14日	説話：『十訓抄』『唐物語』 和歌：『万葉集』	P14-15 P98-99 P49-54
3	10月30日・31日	11月24日	物語：『竹取物語』『伊勢物語』 歴史物語：『大鏡』	P22-25 P28-29 P122-123
4	12月18日・19日	12月21日	漢文：漢文学習の基礎・故事 漢詩：『論語』	P169 P171 P233-234 P187 P216
5	12月25日・26日	1月17日	随筆：『枕草子』『方丈記』 『徒然草』	P60-61 P66 P40-41 P35-36
6	1月08日・09日	1月26日	日記：『更級日記』 物語：『源氏物語』	P72-73 P133-136

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』  
文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』  
国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』



教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語	前期2単位	石川 武美	6	6	4

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、本文を正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、国語総合の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず辞書と便覧を手元に置いて、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書はありませんので、指導資料を使いながら学習を進めてください。

◇履修にあたっての留意点

現代文の作品は声に出して読み、わからない漢字にはチェックを入れるなどし、必ず予習をしてきてください。また、意味のわからない語句や漢字がわからない語句があればすぐに辞書をひく習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月24日・25日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1～2
2	5月8日・9日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月29日・30日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P6～8
4	7月3日・4日	古文の学習 漢文の学習	P8～10
5	7月10日・11日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P10～12
6	7月24日・25日	現代文の学習②（随想）	P13～16

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合①	前後期2単位	篠遠 秀樹	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。また、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにするとともに、言語文化に対する関心を深め、学ぶ態度をはぐくみます。

◇科目の概要

国語総合①では、中学校までの学習の上に立って、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの現代文を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視して下さい。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日 前期 後期	授 業 内 容	教科書 ページ
1	5月1・2日 10月9・11日	現代文 随想 ルリボシカミキリの青	10～15
2	5月8・9日 10月23・24日	現代文 評論 未来をつくる想像力 詩 二十億光年の孤独	46～52 68～69
3	5月29・30日 11月6・7日	現代文 小説 羅生門	76～90
4	7月3・4日 12月11・12日	現代文 短歌 その子二十 俳句 春風や	130～ 140
5	7月10・11日 12月18・19日	現代文 評論 自己基準と他者基準	178～188
6	7月24・25日 1月15・16日	現代文 小説 沖縄の手記から	142～166

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合②	後期2単位	石川 武美	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◇科目の概要

中学校までの学習の上に立ち、古典の入門から始まって、代表的な古文・漢文を鑑賞します。また、①で学ぶ現代文では、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの作品を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視してください。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月9日・10日	古文 古文に親しむ 児のそら寝	218～ 229
2	10月23日・24日	古文 徒然草 亀山殿の御池に 奥山に、猫またといふもの	238～ 245
3	11月6日・7日	漢文 訓読の基本 故事 守株	288～ 295
4	12月11日・12日	漢文 唐詩 春暁 江雪 贈汪倫 論語	302～310 320～324
5	12月18日・19日	古文 折々のうた	254～268
6	1月15日・16日	古文 伊勢物語 芥川 筒井筒	270～ 277

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。





科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語表現	後期2単位	篠遠 秀樹	6	6	3

◇科目の目標

様々な表現活動を通して、自己表現能力を高め、表現の楽しみを味わう。

◇科目の概要

文章の書き方、言葉遣い等、日常生活における基本的な表現活動を中心に学習する。

◇学習の進め方

基本的事項を学習し、それを応用して、できるだけ具体的な表現活動をする。

◇履修にあたっての留意点

レポートは丁寧な字で、一つ一つ最後まで仕上げましょう。

◇スクーリング計画

回数	開講月日(レポート締切)	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/9・10 (10/26 提出締切・11/6 合格締切)	・視写 ・分かりやすい表現のために1	教科書 p6～p13 便覧 口語文法要覧—接続詞
2	10/23・24 (11月14日締切)	・分かりやすい表現のために2 ・コラムを要約する ・漢字と語句の学習1	教科書 p66・67 P162 便覧 四字熟語の読みと意味 動物・植物の読み
3	10/30・31 (11月19日合格締切)	・敬語を学び、使いこなす ・表現課題「好きな作品を紹介する」	便覧 言葉の学習 —敬語の使い方 教科書 p34・35
4	12/11・12 (12/21 提出締切・1/10 合格締切)	・手紙の書き方・漢字と語句の学習2 ・表現課題 「自分にあてた手紙」	便覧 手紙の書き方 教科書 p150・151 便覧 同訓異字語・同音異義語
5	12/18・19 (1月17日締切)	・原稿用紙の使い方 ・表現課題「もう一つの物語」	便覧 原稿用紙の使い方・書き 誤りやすい漢字・慣用句 教科書 p60・61 裏表紙
6	1/8・9 (1月26日合格締切)	・文章のリフォーム—推敲 ・表現課題「ポップを作ろう」	教科書 p64・65 p132～135

◇テスト範囲

前期 後期 中間	レポート①～③	前期後期 期末	レポート④～⑥
-------------	---------	------------	---------

◇成績評価の方法

レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

◇使用教科書 国語表現 教育出版